

〈名画の扉〉

大川美術館から



「無題2」

1967年、水彩、紙
56.0cm×72.5cm

サム・フランシス（1923～94年）

現在、大川美術館で 来、実業家出光佐三を
は「原爆の凶 幽霊」をはじめ日本の文化人た
展示しています。作者 ちと交流し、禅宗や琳
は、日本画家丸木位里 派など日本東洋の思想
と洋画家丸木俊です。 と美から多くを学びま
日本画と洋画の造形力 した。東京にもアトリ
と技法が見事に融合し 工を持ち、ニューヨーク
て、原爆の惨禍が大画 クと往復していた時期
面に表現されていま もありました。

戦後の美術をふりか たような行為（アクシ
えると、日本は世界に ヨン）の痕跡は、実は
開かれ、一方で世界が 繊細にコントロールさ
日本を発見したことも れています。そして画
忘れられません。抽象 面中央の大きな余白こ
表現主義の代表的な米 そ、この画家が体得し
国の画家サム・フラン た緊張感のある「間」
シスも、戦後、日本を の美意識ではなかった
発見した一人です。 かと指摘されていま
画家は、1957（昭 す。
和32）年に初来日。以 （田中）